

2024年6月 25 日  
プレスリリース No.006-24

令和6年度 公開講座  
「道具から『ものづくり』『人づくり』を考える」を開催します

静岡文化芸術大学では、一般市民を対象として、日本の文化と芸術の中で継承されてきた「ものづくり文化」と大地の恵み「素材」について学び、文化の継承と新たな創造へ繋げる匠公開講座を開催しています。

今年度は、日本の「ものづくり文化」の原点といえる「道具」を起点に、文化政策的な視点も加えて「ものづくりと人づくり」を広く捉え考えていきます。

報道関係者の皆様におかれましては、この公開講座の広報および当日の取材のほど、お願い申し上げます。

## 第Ⅰ部 講演「ものづくりの背景とつながりを考える」

オクシズ「漆の里」協議会 森田みか（総合アドバイザー）

堀池真帆（静岡市中山間地域振興課）

## 対談「大工道具の作り手、使い手の現在、そして未来」

水野日出男（大工）×新妻淳子（静岡文化芸術大学）

コーヒーブレイク (パプアニューギニア産フェアトレードアイスコーヒーでひと休憩)

## 第Ⅱ部 体験「道具に触れる」

水野日出男・山口貴一（静岡文化芸術大学）

第Ⅲ部 講演「道具はどのように人と自然をつないできたか」

武田淳 (静岡文化芸術大学)

## ディスカッション「ものづくり、人づくりを考える」

森田みか・水野日出男・荒川朋子（静岡文化芸術大学）・武田淳・新妻淳子・山口貴一

## ■ 概要

【日 時】2024年7月7日(日) 13:00～17:00 (12:30 受付開始)

【会 場】 静岡文化芸術大学南 278 講義室・出会いの広場

※構内に駐車場がありませんので、公共交通機関でお越しになるか、近隣の有料駐車場をご利用ください。但し報道機関の方のための駐車スペースを数台分ご用意します。

【主催】静岡文化芸術大学 地域連携センター

【後援】浜松市

【定 員】 100 名

【申込方法】 入場無料・要事前申込。本学公式Webサイトのイベントページから申込。

＜本リリースに関する問い合わせ＞

静岡文化芸術大学 地域連携室(担当:杉田)

Tel. 053-457-6105 / Fax. 053-457-6123

Email. [chiiki@suac.ac.jp](mailto:chiiki@suac.ac.jp)

公式 Web サイト



# 道具から「ものづくり」 「人づくり」を考える

2024.7/7(日) 13:00~17:00(12:30受付開始)

会場 | 静岡文化芸術大学 南278講義室・出会いの広場

対象 | 一般市民・学生

[定員]  
100名  
要事前申込  
無料

## 第Ⅰ部 13:00~14:30

### 講演「ものづくりの背景とつながりを考える」

オクシズ「漆の里」協議会

森田みか(総合アドバイザー)

堀池真帆(静岡市中山間地振興課)

### 対談「大工道具の作り手、使い手の現在、そして未来」

水野日出男(大工)×新妻淳子(静岡文化芸術大学)



### コーヒースタンド 14:30~

パプアニューギニア産フェアトレードアイス  
コーヒーでひと休憩

## 第Ⅱ部 14:45~15:30

### 体験「道具に触れる」

水野日出男、山口貴一(静岡文化芸術大学)

## 第Ⅲ部 15:40~ 17:00

### 講演「道具はどのように人と自然をつないできたか」

武田 淳(静岡文化芸術大学)

### ディスカッション「ものづくり、人づくりを考える」

森田みか・水野日出男・荒川朋子(静岡文化芸術大学)・武田淳・新妻淳子・山口貴一



お申込み

本学公式Webサイトの  
「イベント」情報から申込フォームにて  
お申込みください。

HP: SUAC 検索



お問い合わせ

静岡文化芸術大学 地域連携室

TEL.053-457-6105 FAX.053-457-6123

E-mail chiiki@suac.ac.jp



## 匠デザイン

道具から「ものづくり」  
「人づくり」を考える

日本の文化の中で継承されてきた「ものづくり文化」と大地の恵み「素材」について学び、文化の継承と新たな創造へ繋げる匠公開講座。2024年度は、「ものづくり文化」の原点といえる「道具」を起点に、「ものづくりと人づくり」を多角的に捉え、身体そのものでも考えます。

公開講座の第Ⅰ部では、オクシズ「漆の里」協議会が実践する「ものづくりの背景とつながり」について講演をいただきます。続いて、使い手と連携した鑿鍛冶の仕事と道具鍛冶を熟知した道具卸の仕事の取材から見えた「作り手、使い手の現在」について、道具の使い手である大工に聞き、未来についても考えます。第Ⅱ部では、実際に道具に触れて「ものづくりと人づくり」を実感する機会とします。第Ⅲ部は、人は道具をどのように生み出してきたのか、人と自然の関係性からお話します。最後に、「ものづくり、人づくり」についてディスカッションを行います。

## 講師プロフィール

オクシズ「漆の里」協議会  
**森田 みか** (もりた みか)

オクシズ「漆の里」協議会 総合アドバイザー、一般社団法人まち・文化研究所代表理事。静岡大学で木工を学び、大学院修了後、家具デザインに携わる。全国の地域づくりの仕事を従事。

オクシズ「漆の里」協議会  
**堀池 真帆** (ほりいけ まほ)

静岡市中山間地振興課職員。協議会担当。静岡市の中山間地「オクシズ」の地で栽培をはじめた漆を起点に、文化財・工芸・観光等の繋がりから新しい可能性の創出を目指す。

**水野 日出男** (みずの ひでお)

大工。日本工芸会研究員。建築物をそのまま持ち上げて移動させる「<sup>ひきや</sup>曳家」から家具、木工作品制作まで幅広く活動。小島クラフト家具製作補助、東京造形大学にて講義。重要文化財旧鈴木家住宅保存修理工事(豊田市足助)、重要文化財名古屋城西南隅櫓及び旧二之丸東二之門保存修理工事、重要文化財西園寺公望別荘「坐漁荘」保存修理工事(明治村)、重要文化財愛知県庁本庁舎屋根修理工事、他多数に従事。

**荒川 朋子** (あらかわ ともこ)

静岡文化芸術大学デザイン学部デザイン学科准教授。専門はテキスタイル、繊維造形。「繊維」から導き出される造形の表現性と可能性、その広がりや奥深さに強く惹かれ研究活動を行う。

**武田 淳** (たけだ じゅん)

静岡文化芸術大学文化政策学部国際文化学科准教授。専門は開発人類学、環境と開発。フェアトレードや観光を切り口に、開発途上国の貧困や環境問題を研究。現場の視点から「地域の発展」を考える。

**新妻 淳子** (にいつま じゅんこ)

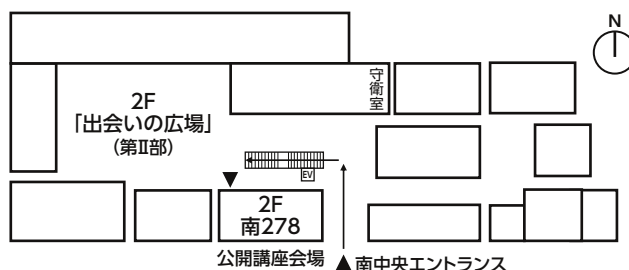
静岡文化芸術大学デザイン学部デザイン学科准教授。専門は日本伝統建築。日本の伝統建築と近世建築普請活動に関する研究を推進。伝統建築から直に日本の意匠や技術を学び新たな創造を目指す。

**山口 貴一** (やまぐち たかかず)

静岡文化芸術大学デザイン学部デザイン学科特任助手。専門は現代芸術、現代彫刻、環境彫刻。木材を素材の中心として様々な作品を制作・研究することにより、社会と芸術の関係性を探究する。



## 静岡文化芸術大会場案内図



## 交通アクセス

本学には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

- JR浜松駅より徒歩15分
- 遠州鉄道「遠州病院」下車徒歩8分
- 遠鉄バス「文化芸術大学」下車

お問い合わせ

静岡文化芸術大学 地域連携室  
〒430-8533 浜松市中央区中央2-1-1

TEL:053-457-6105 FAX:053-457-6123

E-mail: [chiiki@suac.ac.jp](mailto:chiiki@suac.ac.jp)HP: [SUAC](http://SUAC)

検索